



知恵は地方にこそあり！

皆様の「夢」と「希望」の実現へ
世界に輝く「宝の島・徳島」を目指します

がもんマニフェスト
新たな挑戦

飯泉嘉門

(いいずみかもん)

徳島 飯泉嘉門

「百年に一度のピンチ」を 未来の徳島発展の礎^{いしずえ}を築くチャンスに！

1 今や「徳島のお家芸」となった 「ピンチをチャンスに！」の施策展開

「カモン・マニフェスト（第二幕）」の推進

平成19年5月、2期目の「県政の舵取り」を担わさせていただいて以来、再選出馬時、県民の皆様とお約束した「カモン・マニフェスト（第二幕）」の実現に向け、「オープンとくしまの実現」をはじめ7つの基本目標を掲げて、「誇り」と「豊かさ」を実感していただける「21世紀の徳島づくり」を目指し、「県民目線」に立った県政の推進に、全力で取り組んで参りました。

迅速かつ切れ目のない「百年に一度の経済危機」への緊急対策

平成20年秋のリーマン・ショック以降、世界的な「百年に一度の経済危機」に直面しておりますが、「ピンチをチャンスに」切り替えるべく、「いけるよ！徳島（踏ん張り中）」を合い言葉に、迅速かつ切れ目のない「徳島ならではの」の「緊急経済雇用対策」を実施してきたところです。

「徳島ならではの」の「安全・安心対策」の推進

また、「県民の皆様のご生活」をしっかりとお守りするため、

- ・「徳島大学への寄附講座」による、「県立海部病院における分べん再開」をはじめとする「地域医療」の再生
- ・全国トップクラス「乳幼児等医療費助成制度」の展開や、全国に先駆けた「子宮頸がん予防ワクチン接種」の全額公費助成の開始
- ・「公立学校の耐震化」や「県立南部防災館の新設」、「県立三好病院の高層棟改築決定」など「南海地震対策」の加速
- ・県内事業者の皆様をはじめ、県を挙げての取組みによって、平成19年以来4年連続で更新中の「県内企業の障害者雇用率」の改善など、創意工夫を凝らし、徳島ならではの「安全・安心」の充実・強化を図って参りました。

「徳島の強み」を活かす「新成長戦略」の展開

さらには、事業者の皆さんをはじめ、県民の皆様にも、「将来に向けての希望」を持っていただけるよう、

- ・「光関連産業の100社集積」の目標を達成した「LEDバレイ構想」の推進
- ・世界的な「糖尿病の研究開発・臨床拠点」における「先進医療」と本県の豊かな「観光資源」とを組み合わせた「医療観光」や「教育旅行」
- ・「環境の世紀」を転機と捉えた、全国のモデルとなる「林業飛躍プロジェクト」の推進など、「徳島の強み」を活かす「新成長戦略」も強力に展開してきたところです。

「知恵は地方にこそあり！」と国に対し「徳島発の政策提言」

時あたかも、「中央集権型社会」からの脱却が叫ばれる歴史の転換期、「知恵は地方にこそあり！」との気概を強く持ち、「徳島発の提言を日本の標準（ジャパンスターダート）に！」の精神のもと、全国都道府県の先陣を切って、国に対し、地方の視点と県民の目線に立った「徳島発の政策提言」をスピード感を持って実施し、ソフト対策を新たに加えた「過疎法の制定」や「国の追加経済対策」など、「地域主権型の政策」を次々と引き出して参りました。

「平成の新しい国づくり」を先導する「関西広域連合」の設立

また、「有史以来初」の府県域を超えた行政主体「関西広域連合」が平成22年12月に発足したところであり、「平成の新しい国づくり」を首都東京を擁する「関東」ではなく、「関西」から実現し、徳島はじめ関西、そして四国全体の発展に繋げていくため、「四国と近畿の結節点」という強みを持つ「徳島こそ」がしっかりと「先導役」を担っていく千載一遇の好機を迎えています。

2 県民の皆様から心から感謝！

今、日本経済は「百年に一度の経済危機」の真っ只中にありますが、中小企業をはじめ、経済界や労働界、市町村など、県内の各界各層の皆様が、「百年に一度のピンチ」を「将来に向けた徳島発展の礎を築いていくチャンス」へと繋げるよう、まさに「拳県一致」で県内雇用や県民生活を守り、支えてくださっています。

このような県民の皆様、お一人おひとりの「日頃のご努力や頑張り」に対し、改めて、心から感謝を申し上げます。

3 県民の皆様の「夢と希望の実現」に向けた「新たな挑戦」に全身全霊を傾注！

2期目の4年目にあたり、各界各層の皆様から、

- ・引き続き県政を担い、経済危機の暗雲を払拭して欲しい
- ・関西広域連合をはじめ全国の中で、一段と発信力を強め、「愛する徳島の飛躍発展」に繋げて欲しい

という「強いご期待や激励」をいただいております、これほど「勇気づけられること」はありません。

こうした「熱い思い」を真摯に受け止め、「いけるよ！徳島」を合い言葉に、「百年に一度の経済危機」による閉塞感の一日も早い打破をはじめ、「山積する難問」の着実な解決を図っていくとともに、「徳島の持つ潜在力」をより一層引き出し、県民の皆様の「夢と希望」の実現に向け、関西はじめ日本はもとより、世界に輝く「宝の島・徳島」を目指す「新たな挑戦」に、全身全霊を傾注して参ります。



「知恵は地方にこそあり！」と 創意工夫を凝らした政策を積極的に展開！

進化する！「オンリーワン徳島」

～2期目4年間の実績（抜粋）～

1 「オープンとくしま」の実現

◆「平成の新しい国づくり」を先導する「関西広域連合」の設立

○「四国と近畿の結節点」に位置する「徳島の強み」を大いに発揮！

◆待たせない、回さない！「すだちくんコール」の開設

○「県庁コールセンター（総合案内窓口）」でワンストップの電話対応

※H21年11月～ 全国都道府県で3番目に設置



関西広域連合設立

2 「経済飛躍とくしま」の実現

◆21世紀の光源「LEDバレイ構想」の推進

○「エコパダク」をはじめ全国商談会で県内企業の関連製品を積極的PR

○「県内立地100社目」のLED関連企業が県営西長峰工業団地に進出

※LED関連企業集積数（H18）25社→（H22）100社

◆「新鮮なっ!とくしま」号による「とくしまブランド戦略」の展開

○H17導入以来地球2周半（10万km）！新デザインで全国走行中



とくしまブランド戦略の展開

3 「環境首都とくしま」の実現

◆「徳島ならではの」の「低炭素型社会づくり」の推進

○中四国初「地球温暖化対策推進条例」の制定

○県庁に「電気自動車」を導入し21世紀「環境の世紀」を率先垂範

◆県民と協働で未来を守る「とくしま森林（もり）づくり」の推進

○挙県一致でCO2排出量削減を図る「とくしま協働の森づくり事業」展開

※協力企業数（H18）0社 →（H22）56社 [全国1位!]



とくしま協働の森づくり事業

4 「安全・安心とくしま」の実現

◆県民の安全・安心を確保する「地域医療再生」の推進

○助かる命を助ける「ドクターヘリ機能」導入（消防防災ヘリ「うずしお」に）

○「県立中央病院」改築着手並びに「県立三好病院」高層棟の改築推進

○「子宮頸がん予防ワクチン接種」全額公費助成事業を全国に先駆け開始

※H22年10月～ 県内全市町村でスタート

◆南海地震発生時の死者ゼロ「とくしま-0（ゼロ）作戦」の展開

○県南部の防災活動拠点となる「県立南部防災館」開館



ドクターヘリ機能の導入

5 「“まなびや” とくしま」の実現

◆21世紀の人材創造「県民“まなび”拠点」の整備

○県民の皆様の「知りたい」に応える県立総合大学校（まなびーあ徳島）の展開

◆「子どもを育てるなら”とくしま”づくり」の加速

○子育て世代との直接対話「子育てパパママ知事とわいわい事業」の全県展開

○全国トップクラス「乳幼児等医療費助成制度」の展開

※助成水準の全国順位 (H18) 43位 → (H21) 3位

○県内3校目「県立富岡東中学校」開校による「中高一貫教育」の全県展開



子育てパパママ知事とわいわい事業

6 「“みんなが” とくしま」の実現

◆「男女共同参画立県とくしま」づくりの推進

○「県における政策・方針決定過程」への女性参画の推進

※県審議会に占める女性委員の割合

(H18) 40.3% [全国3位] → (H22) 47.1% [3年連続全国1位!]

◆高齢者いきいき「生涯現役とくしま」づくりの推進

○旺盛な向学心に応える「県シルバー大学校・大学院」の講座充実

◆障害者「自立と社会参加のとくしま」づくりの推進

○「全国ろうあ者体育大会」及び中四国初「全国障害者芸術・文化祭」の開催

○「民間企業の障害者雇用率」向上による職業的自立の促進

※(H18) 1.33%→(H21) 1.61% [伸び率全国2位]



県シルバー大学校「大学祭」

7 「“にぎわい” とくしま」の実現

◆「文化立県とくしま」の推進

○「おどる国文祭」の継承発展と「ジョーリ100公演」「阿波藍再考 藍千」の展開

◆「とくしまスポーツ王国づくり」の展開

○徳島の新しい「春の風物詩」進化する「とくしまマラソン」の開催

※参加人数 (H20) 4,045人 → (H22) 6,360人

◆「大交流新時代」に向けた高速交通ネットワークの整備促進

○「徳島阿波おどり空港」の開港に伴う徳島・東京便の利便性向上

※徳島・東京便 (H18) 1社・6便 → (H22) 2社・9便



とくしまマラソン

「幸福を実感できる！」 オンリーワン徳島の実現

21世紀 “とくしま” 幸福づくり

～「幸齡」「幸献」「幸流」社会づくり～

20世紀が、大量生産・大量消費に代表される「画一性・効率性」を追求し「量的拡大」を目指す時代であったのに対し、21世紀は、「新しい豊かさのかたち」として、個性や多様性が尊重され、個人や地域が固有の価値観に基づいた「質的充実」によって「幸福を追求」するまさに「オンリーワン」の時代です。

県民の皆様お一人おひとりに「幸福を実感！」していただくため、「次のような将来像」を目指して、「オンリーワン徳島」づくりを進めます。

○誰もが自分ならではの幸福を実感できる

「幸齡（幸福に年齢を重ねる）社会」

年齢・性別・国籍・障害の有無に関わりなく、一人ひとりの「個性」や「思い」が大切にされ、安心して暮らしながら、自分ならではの幸せを追求することができる社会。

○地域における幸福づくりに積極的に貢献する

「幸献（幸福づくりに貢献する）社会」

一人ひとりが夢や希望を持って、豊かな地域社会の形成に向け、地域振興や様々な課題解決に積極的に貢献し、助け合いや支え合いといった人と人との絆が大切にされる中で、地域全体における幸福が増大する社会。

○人・物・情報の活発な交流により幸福感が高まる

「幸流（交流により幸福感が高まる）社会」

本県の持つ「国内外に誇りうる優位性」を最大限に活かし、人・物・情報が活発に交流することにより、新たな産業や文化が創造され、県民一人ひとりの豊かさが増幅し、県民全体の幸福感が高まる社会。

徳島に求められる中期的な「4つの視点」

今、従来の「中央集権型」から「地域のことは地域で決める地方分権型」社会へと移行する「歴史的な転換期」にあって、県民の皆様からお寄せいただいた「徳島の将来への夢や希望」を実現するためには、まず、手の届く未来である「10年程度先」をしっかりと見据え、次の「4つの視点」のもと、「知恵は地方にこそあり！」と創意工夫を凝らした政策を積極的に展開し、地域から「幸福感あふれる徳島」を創造することが求められています。

4つの視点

地域の活性化

人・物・情報の交流がより活発になり、県内どこもが活気にあふれ、にぎわう地域づくりを実現することが求められています。

地域を創る

安全で安心して生活できる環境を整備するとともに、一人でも多くの県民が、積極的に主体的な役割を果たすことができる地域づくりが求められています。

地域で支える

誰もが住み慣れた地域の中で、ともに支え合いながら暮らすことができ、将来を担う子どもたちを地域ぐるみで支える社会づくりが求められています。

地域で未来創造


県民と行政との信頼関係のもと、「県民が主役」となって、それぞれの地域において、「夢と希望」にあふれた未来創造をしていくことが求められています。

「7つの基本目標」


基本理念「幸福を実感できる！」オンリーワン徳島の実現を目指し、中期的な「4つの視点」に立って、「いけるよ！徳島」を合い言葉に、次期4年間、新たな「7つの基本目標」の達成に向け全身全霊を注ぎます。

7つの基本目標

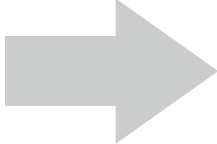
地域の活性化

- 
- 1 「にぎわい・感動とくしま」の実現
 - 2 「経済・新成長とくしま」の実現

地域を創る

- 
- 3 「安全安心・実感とくしま」の実現
 - 4 「環境首都・先進とくしま」の実現

地域で支える

- 
- 5 「みんなが主役・元気とくしま」の実現
 - 6 「まなびの^{くに}邦・育みとくしま」の実現

地域で未来創造

- 
- 7 「宝の島・創造とくしま」の実現

知恵は地方にこそあり！

～ “かもん”の「新たな挑戦！」～

“かもん”がお約束する「7つの基本目標」・「35の重点戦略」
～いけるよ！徳島～

～「10年後の徳島」を見据えた「今後4年間（H23～H26）の新成長戦略」～

「にぎわい・感動とくしま」の実現

～地域の活性化～

基本目標

1

「四国と近畿の結節点」に位置する「地の利」と魅力ある地域資源を活かし、にぎわう地域づくりを推進するため、人・物・情報の活発な交流を支える基盤整備を図るとともに、観光をはじめ国内外との交流、文化立県、スポーツ王国づくりを加速し、活気にあふれる「にぎわい・感動とくしま」の実現を目指します。



「にぎわう地域づくり」の推進

～人・物・情報の交流拡大を加速～

<財源：一般財源、特定財源（国庫補助金、その他）>

- 「本州四国連絡道路」の高コスト構造の改善
 - ◆ 本四道路をはじめ高速道路の「全国一律料金制度」の実現 H26までに
- 四国横断自動車道をはじめ「高速交通ネットワーク」の整備促進
 - ◆ 「四国横断自動車道」鳴門JCT～阿南IC間の部分供用開始 H26までに
 - ◆ 「阿南安芸自動車道」の整備促進
 - ・ 桑野道路の建設事業着手 H23に
 - ・ 日和佐道路の全線開通 H23に
- 「鉄道事業活性化戦略」の展開
 - ◆ 徳島市内「鉄道高架事業」の都市計画決定 H26までに
 - ◆ 「新たな車両」の導入による阿佐東線における実証実験の開始 H26までに
- 新たな海の玄関！「徳島小松島港コンテナターミナル」の利用促進
 - ◆ 「韓国航路の充実」及び中国をはじめ「新たなアジア航路」の開設 H26までに
- 「新水上交通ネットワーク」の創造
 - ◆ ひょうたん島やマリンピア沖洲等を結ぶ「新たな水上交通体系」の整備 H26までに
- 新たな空の玄関！「徳島阿波おどり空港」の利用促進
 - ◆ 国内外の航空路線の充実 H26までに
- 「ICT（愛して）とくしま戦略」の推進 ～「ひかり王国」全県CATV網の活用～
 - ◆ 地域のICT・利活用技術向上を図る「新支援体制」の整備 H24までに
 - ◆ 徳島産デジタル・コンテンツを発掘する「ICTとくしま大賞」の創設 H24までに

世界に発信する「観光立県とくしま」の推進

～「徳島ならではの」魅力を活かして～

<財源：一般財源、特定財源（国庫補助金、その他）>

○先進医療に豊かな観光資源を組み合わせた「医療観光」の本格展開

- ◆「関西広域連合の広域観光ルート設定」をはじめ創意工夫による外国人観光客数の増
・県内への外国人宿泊者数（年間）（H21）12,560人 → H26までに 4倍増

○「県南」や「にし阿波観光圏」への体験型「教育旅行」の誘致促進

- ◆「県南、県西の受入組織」における観光客受入数の拡大
・受入数（累計）（H18～H21）6,181泊 →（H23～H26）3倍増

○「県内宿泊者数ジャンプアップ作戦」の推進

- ◆人口一人当たり宿泊者数の増（H21）1.51人 全国41位 → H26までに20位台に

「世界に開かれたとくしま」の推進

～アジアそして世界の徳島へ～

<財源：一般財源、特定財源（その他）>

○「中国との新たな交流」をはじめ国際交流の推進

- ◆中国・湖南省との「友好提携」を契機とした中国との新たな交流 H26までに
- ◆ドイツ・ニーダーザクセン州との「友好提携5周年」を契機とした新たな交流 H26までに

○世界に開かれた「多文化共生とくしま」づくりの推進

- ◆地域から世界に開くワストップ 情報受発信拠点「とくしま国際交流戦略センター（仮称）」の創設
H24までに

世界に輝く「文化立県とくしま」の推進 ～「おどる国文祭」の継承発展～

<財源：一般財源、特定財源（国庫補助金、その他）>

○進化する！「おどる国文祭」の継承発展 ～“徳島で会おう！”が合い言葉～

- ◆「阿波おどりの歴史と文化」を再発見するフェスティバルの開催 H23に
- ◆既開催県では全国初！「第27回国民文化祭（おどる国文祭5周年記念事業）」の開催
H24に
- ◆徳島ファン音楽家による「とくしま記念オーケストラ（とくしま国民文化祭記念管弦楽団）」の創設
H24までに

○パワーアップ！「文化立県とくしま推進基金」の進化

- ◆「あわ文化の創造・発信」を強力に支援する基金の創設 H24までに

○「子どもの心に響く文化教育」の推進

- ◆伝統文化を次代へと伝える「人材バンク」の創設（累計）
（H21）0 → H26までに 100人登録

○目指せ！「四国八十八箇所霊場と遍路道」の世界遺産登録

- ◆四国4県や関係団体と連携協力し、これまでの取組みを加速

「スポーツ王国とくしまづくり」の推進

～県民参加でつくる王国の基盤強化～

<財源：一般財源、特定財源（国庫補助金、その他）>

○「スポーツ王国とくしま推進基金」の創設

◆「創意工夫あふれるスポーツ振興」を支援する基金の創設 H24までに

○競技力ジャンプアップ！「新スポーツ拠点機能」の整備

◆ 本県初の「県立高校体育科」を活かす「新スポーツ拠点機能」の整備 H24までに

◆ 国体はじめ全国大会の順位向上

～全国大会順位 H26までに 30位台へステップアップ、そして20位台へ～

○「プロスポーツの振興」を通じた“にぎわい・感動”の創出

◆ プロサッカー「J 1 ジャンプアップ」に向けた環境整備の促進 H26までに

◆ 「地域プロ野球チーム」との連携協力による新たなにぎわいの創出 H26までに

○夢舞台とくしまへ！「全国スポーツ大会」の誘致及び定着の促進

◆ ホッケー、ソフトテニスなど全国規模スポーツ大会の誘致や定着促進 H26までに

「経済・新成長とくしま」の実現

～地域の活性化～

基本目標

2

厳しい経済情勢を克服するとともに、「徳島の強み」を活かした時代を先取る産業の創出・育成、地域産業の基盤強化、もうかる農林水産業の実現、安定した雇用の確保やあらゆる人が働きやすい職場環境の整備を推進し、世界に誇る「とくしまブランド」が牽引する、未来に伸びゆく「経済・新成長とくしま」の実現を目指します。



「次世代林業プロジェクト」の展開

～10年後の県産材生産・利用の「倍増」へ～

<財源：一般財源、特定財源（国庫補助金、その他）>

○全国モデル！豊富な森林を活かす「次世代林業プロジェクト」の展開

◆「県産材生産量」の拡大

・年間生産量（H21）20万m³ → H26までに 50%増

◆「木材自給率」の向上

・自給率（H21）40% → H26までに 25%増（国の目標を6年前倒しで達成）

○「県産材利用10（十）アップ運動」の展開 ～現在の利用量の10%相当を毎年上積み～

◆全国初「とくしま県産材利用促進条例（仮称）」の制定

H24までに

（特色）利用増に向けた民間企業、林業事業者、県・市町村など各主体の努力義務

◆県内における「公共・民間部門」での「県産材利用量」の拡大

・年間利用量（H21）7万m³ → H26までに 50%増

「もうかる農林水産業とくしま」の実現

～10年後の所得50%増を目指して～

<財源：一般財源、特定財源（国庫補助金、その他）>

○「もうかる農林水産業」づくりの推進

◆年間農家所得の向上（H20）1戸あたり 400万円 → H26までに 25%増

◆生産額ベースでの食料自給率向上

・自給率（H19）129% → H26までに 20%増（国のH32目標の2倍以上に）

○「新たな農業高等教育」ホップ・ステップ・ジャンプ作戦の展開

◆県内大学における「農商工連携学部（仮称）」の創設に挑戦！

H26までに

※H23. 4月から県農業大学校を専修学校化

※H24. 4月から徳島大学工学部に農工連携スタディーズ（専門課程）設置

○「とくしま農業飛躍ビジネス」の創出 ～「農商工連携」をはじめ「6次産業化」で推進～

◆農林水産業の「知の拠点」における「徳島発・次世代技術」の創造（累計）

H26までに40件

※「知の拠点」：農林水産総合技術支援センター H25開所

21世紀型「ものづくり立県」の推進

～中小企業はじめ「徳島の強み」を活かして～

<財源：一般財源、特定財源（国庫補助金、その他）>

○「とくしまデジタル・コンテンツ企業城下町」の創設

※デジタル・コンテンツ産業・・・アニメ、映画、音楽等のデジタルデータを活用する産業

- ◆ 徳島産「デジタル・コンテンツ」情報発信拠点の整備促進 H26までに
- ◆ 「起業家の挑戦」を応援する「新・創業応援とくしま」戦略の展開 H24までに
- ◆ デジタル・コンテンツ産業の集積促進（累計）（H22）70社 → H26までに3倍増
- ◆ あらゆる世代に対する「デジタル・コンテンツ活用人材」育成機会の創出
・ 育成講座数（年間）（H21）3講座 → H26までに 25講座

○「とくしまLEDネクストステージ構想」の展開 ～100社集積の相乗効果を発揮～

- ◆ 全国トップクラス！「LED応用製品性能評価体制」の創設 H24までに
- ◆ 「とくしまLED認証制度」の創設 ～LED応用製品認証制度～ H24までに

○「徳島ならではの」産業人材づくり中核拠点の創設

- ◆ 21世紀型・職業訓練施設「中央テクノスクール（仮称）」の開校 H25までに

世界に誇る「とくしまブランド」の確立 ～「農商工連携」のブランド展開で～

<財源：一般財源、特定財源（国庫補助金、その他）>

○新鮮で安全・安心！ひろがる「とくしまブランド」戦略の展開

- ◆ 「とくしま特選ブランド」の創設
・ ブランド数（累計）（H21）0 → H26までに 20ブランド
- ◆ パワーアップ！「阿波三畜・新ブランド」の創設
～「新とくしまブランド豚」の生産体制の確立～ H26までに
- ◆ 「日本三大はも祭り！」パワーアップ活體キャンペーンの展開 H24までに
※日本三大はも祭り・・・京都「祇園祭」、大阪「天神祭」、徳島「阿波おどり」

○全国モデル！「阿波とくしまアンテナショップ」の全国展開

- ◆ コンビニ型「公設アンテナショップ」の全国展開 H26までに
- ◆ 民間店舗型「阿波とくしまアンテナショップ」の新規認定 H26までに

○全国・世界に広がる！「徳島ものづくり販路拡大」戦略の展開

- ◆ 「東京・大阪ビジネスフォーラム」の毎年開催と「分野別展示商談会」への出展拡大 H26までに
- ◆ 徳島ブランド知名度アップ作戦！「徳島経済飛躍サミット in 中国」の開催 H23に

○進化する！「県内企業への優先発注」

～「金額」及び「県内本店」に着眼した目標を創設～

※目標値は、いずれも「WTO案件」を除く数値

- ◆ 「県内発注率（金額ベース）」目標の創設（H21）84% → H26までに 90%以上
- ◆ 「県内本店への優先発注（件数ベース）」目標の創設（H21）80% → H26までに85%以上
- ◆ 「県発注公共事業」における「県内産資材」使用の徹底
（H22まで）「優先使用」規程 → H23以降「原則使用」規程に強化

「徳島ならではの」の魅力ある雇用創出の推進

～「しごと生き生きとくしま」づくり～

<財源：一般財源、特定財源（国庫補助金、その他）>

○「とくしまブランド・新たな担い手創造戦略」の展開

◆ 徳島へいらっしゃい！「新規就農促進事業」の推進

- ・都市圏の農業系大学生を対象とした就業体験（累計）

（H21）0→H26までに 40人以上

◆ 建設業はじめ他分野から農林水産業への新規参入促進

- ・新規参入事業所数（累計）（H19～H21）29社 →（H23～H25）50%増

○障害者の「働きたい！」を応援 ～挙県一致から「県民運動」へ～

◆「とくしま障害者雇用促進条例（仮称）」の制定

H25までに

- （特色）・民間企業、関係団体、県・市町村など、各主体の役割や努力義務
- ・「障害者雇用・職場改善モデル事例」の顕彰・普及制度の創設

◆「民間企業の障害者雇用率」の向上

～法定雇用率1.8%達成に向けて！～

（H18対比H21の増加幅）+0.28ポイント 全国2位 →（H18対比H26の増加幅）全国1位へ

◆「県教育委員会の障害者雇用率」の向上 ～法定雇用率2.0%達成に向けて！～

（H21）1.70% 全国27位 → H26までに 全国ベスト10入りへ

○若者雇用を創出！「ICT関連雇用50%アップ戦略」の展開

◆ コールセンター、データセンターなど「ICT関連企業」の新規雇用拡大

- ・新規雇用者数（累計）（H21）710名 → H26までに 50%増

「安全安心・実感とくしま」の実現

～地域を創る～

基本目標

3

あらゆる危機事象への迅速かつ的確な対応に向け、南海地震をはじめとした自然災害や新型インフルエンザへの対策、地域医療の再生に向けた抜本的な対策、消費者被害対策や体感治安の向上を進め、誰もが安全で安心して暮らせる「安全安心・実感とくしま」の実現を目指します。



全国モデル！「危機管理体制」の確立 ～あらゆる危機事象に的確に対応～

<財源：一般財源、特定財源（その他）>

- 「あらゆる危機事象」に備える危機管理体制の創造
～陸上自衛隊、海上自衛隊、海上保安庁など国の機関を含め～
 - ◆「県危機管理総合調整会議（仮称）」の設置 H24までに
- 子どもから大人まで！「防災生涯学習」の展開
 - ◆防災教育の拠点「とくしま防災人材センター」の設置 H24までに
 - ◆県立総合大学校との連携による「防災生涯学習コース」の開設 H24までに
 - ◆「少年少女消防クラブ交流大会（仮称）」はじめ全国大会の誘致推進

パワーアップ！「とくしまゼロ作戦」の展開

～南海地震発生時の死者ゼロへ～

<財源：一般財源、特定財源（国庫補助金、その他）>

- 東海・東南海・南海「三連動」地震対策の推進
 - ◆東北関東大震災を踏まえた「被害想定・抜本対策」の創設 H23に
 - ◆「とくしま震災対策推進条例（仮称）」の制定 H26までに
（特色）・「公務員及び民間企業従業員の消防団活動への参加」についての努力義務
・消防団活動をはじめ「あらゆる防災活動」に対する「顕彰制度」創設
 - ◆「県有防災拠点施設等の耐震化率」の向上 (H21) 64% → H26までに 90%
 - ◆「県立高等学校施設の耐震化率」の向上 (H21) 62% → H26までに 90%
 - ◆関西広域連合と連携した「近畿府県合同防災訓練」の本県開催 H23に
- 防災活動を率先垂範！「県庁自主防災組織」の創設
 - ◆地域の自主防災活動を支援する「県庁消防応援隊（仮称）」の創設 H24までに
- 「住まいの安全・安心」対策の推進
 - ◆リフォームを伴う「木造住宅の簡易耐震化工事」に対する支援制度の創設 H23に
※簡易耐震化工事・・・寝室、居間など個人木造住宅の部分的な耐震工事

「食の安全・安心とくしま」づくりの推進 ～県民のくらしを守るために～

<財源：一般財源、特定財源（その他）>

- 鳥インフルエンザ、口蹄疫など「畜産被害」に対する「危機管理体制」の構築
 - ◆迅速な防疫支援を行う「Vサポート徳島」を関西広域連合に拡大 H26までに
 - ※「Vサポート徳島」・・・県庁や県獣医師会などの獣医師で結成した「緊急防疫対策チーム」
 - ◆カモンとくしま！「県獣医師職員」養成プロジェクトの展開
 - ・獣医系大学からのインターンシップの充実や修学資金制度の創設 H24までに
- 「とくしま消費者被害ゼロ作戦」の推進
 - ◆食品表示の徹底した偽装防止を図る「とくしま食品表示Gメン」の創設 H24までに
 - ◆「地域版」消費者情報センター機能の創設
 - ・くらしのサポーター、NPO、市町村等が連携する「地域ならではの」のネットワーク創設 H24までに
 - ◆「先進的に取り組む事業者」の登録・公表制度の創設 H24までに

「地域医療再生」の加速 ～助かる命を確実に助けるために～

<財源：一般財源、特定財源（国庫補助金、その他）>

- 「いつでもどこでも安心して受けられる医療体制」の創設
 - ◆常に全国トップクラス！「乳幼児等医療費助成制度」の展開
 - ・対象年齢（H21）小3修了まで全国3位 → H26までに全国トップクラスを視野に入れ対応
 - ◆関西広域連合における「ドクターヘリ共同運航」の開始 H24までに
 - ・徳島県に「ドクターヘリ専用機」導入 H24までに
 - ◆「関西広域救急医療連携計画」の策定 H23に
 - ◆医師修学資金貸与者数の増（累計）（H21）11人 → H26までに 5倍増
 - ◆県南、県西、県東「県下全域」で「地域周産期母子医療センター」の整備 H26までに
- 全国モデル「総合メディカルゾーン」の整備促進 ～徳島大学病院と県立中央病院の統合へ～
 - ◆県立中央病院の耐震改築及び機能向上 H25までに
 - ◆「がん治療をはじめ高度医療対応機器」の整備促進 H25までに
- 四国中央部の新医療中核拠点「県立三好病院」の整備
 - ◆「県立三好病院・高層棟」の耐震改築 H26までに
 - ◆放射線治療をはじめ「がん診療連携地域センター機能」の強化 H26までに
 - ◆「県西部看護師等養成所」の教育環境整備 H26までに
- 県南部への「寄附講座の充実」による医師確保対策の推進
 - ◆「新たな寄附講座」による県立海部病院診療科の拡充（年間）
 - ・開設中の講座数（H21）1講座 → H26までに 3講座

「生涯健康とくしまづくり」の推進

～心豊かな生活を支えるために～

<財源：一般財源>

○「健康寿命！長寿県とくしま」づくりの推進

- ◆「健康づくり活動」に自主的に取り組む「とくしま健康づくりチャレンジャー」の創設
 - ・登録者数（累計）（H21）0 → H26までに 1万人以上
- ◆「地域住民の健康づくり」を応援する「とくしま健康づくりサポーター」の創設
 - ・養成者数（累計）（H21）0 → H26までに 200人以上
- ◆ 県立総合大学校に「健康寿命！長寿県とくしま」指導者認定講座を新設 H24までに
- ◆ 「県健康福祉祭」の「県南部、県西部サテライト大会」の開催 H24までに

○「予防歯科」重視！歯科保健対策の推進

- ◆ 「とくしま歯科保健推進条例（仮称）」の制定 H24までに
 - （特色）・無歯科医地区住民、要介護者、入院患者等に対する「口腔ケアの促進」
 - ・糖尿病予防のための「歯周病対策の推進」

「環境首都・先進とくしま」の実現

～地域を創る～

基本目標

4

地球環境にやさしい社会づくりに向け、低炭素社会や自然共生社会の形成をはじめ、地球温暖化対策に正面から対応するとともに、豊かな森林づくり、潤いあふれる生活環境づくりなど、「徳島ならではの先進的な取組みを推進し、21世紀「環境の世紀」をリードする「環境首都・先進とくしま」の実現を目指します。



「環境首都とくしまづくり」の加速

～21世紀「環境の世紀」を徳島がリード～

<財源：一般財源、特定財源（その他）>

○「クリーン・エネルギー地産地消事業」の展開

※クリーンエネルギー・・・太陽光発電、小水力発電、風力発電などで得られるエネルギー

◆ 電力の自給自足「実証・モデル事業」の促進（累計）（H21）0→H26までに15箇所以上

○「地球にやさしい交通社会づくり」の推進 ～次世代自動車の普及促進～

◆ 県公用車の「エコカー」導入比率の向上（H21）9% → H26までに 倍増

◆ 県内「急速充電設備（エコスタンド）」設置数の増（累計）

（H21）1基 → H26までに 15基

○ 地域の環境教育の拠点「エコスクール」づくりの推進

◆ 太陽光発電、風力発電、屋上緑化等で県立学校をエコスクール化

・エコスクール数（H21）3校 → H26までに 全校展開

「循環型社会とくしま」県民運動の推進 ～限りある資源を最大限に活用～

<財源：一般財源>

○ 全県展開！「マイバッグ運動」

◆ 「レジ袋ゼロの日・推進事業」実施市町村の拡大（H21）3市町村 → H26までに18市町村

◆ 「マイバッグでお買い物」隊員数の増（累計）（H21）0 → H26までに2,000人以上

○ 「サイクル・アンド・ライド」をはじめ「環境首都型通勤」の創造

◆ 民間と産学官の連携による新たな「実証実験」の展開（累計）（H21）0 → H26までに 3箇所

※サイクル・アンド・ライド・・・自転車でバス停・駅に来てバス・鉄道に乗り換えるシステム

「豊かで快適なとくしま環境づくり」の推進 ～農村環境・水環境を保全～

<財源：一般財源>

○ 県民参加型！「耕作放棄地対策」の推進 ～都市と農村の交流～

◆ 企業、大学、NPOなどの参画による「耕作放棄地・活用し隊（仮称）」制度の創設

・モデル圃場数（累計）

（H21）0 → H26までに 10圃場

・ボランティア登録数（累計）

（H21）0 → H26までに 200人

○ **きれいな水環境を創造！「住みよいとくしま」づくりの推進**

- ◆「浄化槽維持管理一括契約制度」導入の加速（H21）0 → H26までに 10市町村

「自然との共生」とくしまづくりの推進 ～豊かな自然を保護するために～

<財源：一般財源、特定財源（国庫補助金）>

○ **「徳島ならではの」の「生物多様性戦略」の展開**

- ◆「徳島県版・生物多様性地域戦略」の策定 H24までに
(特色)・「ワークショップ」の開催をはじめ県民意見を積極的に反映
・「環境首都とくしま創造センター(エコみらいとくしま)」を活用した戦略の展開
- ◆「県希少野生生物保護区」指定箇所を増
(累計) (H21) 1箇所 → H26までに 3箇所以上

○ **「野生鳥獣と人との共生！」安心して暮らせる徳島の実現**

- ◆「公務員OBハンター」創設をはじめ「狩猟免許」新規合格者数の増
・新規合格者数(年間) (H21) 74人 → H26までに 倍増
- ◆徳島産「うまいよ！ジビエ料理店(仮称)」の認定制度の創設
・認定店舗数(累計) (H21) 0 → H26までに 30店舗
※ジビエ・・・食材として捕獲された野生の鳥獣のこと

「とくしま森林(もり)づくり」の推進

～豊かな森林を次世代に引き継ぐために～

<財源：一般財源、特定財源(その他)>

○ **挙県一致！「県民協働による森林(もり)づくり」の推進**

- ◆森林づくりの推進エンジン！「徳島森林づくり推進機構(仮称)」の開設 H26までに
- ◆「J-VER制度」の活用をはじめ「森林を活用した排出量取引面積」の拡大
・J-VER面積(累計) (H21) 129ha → H26までに 5倍増
※J-VER制度・・・「自主的な温室効果ガス排出削減への取組み」から生じた「排出削減量」の国内取引制度
- ◆関西広域連合における「森林づくりカーボン・オフセット制度」の創設 H26までに
※カーボン・オフセット制度・・・温室効果ガス排出量を植林や太陽光発電などにより埋め合わせる制度
- ◆県民協働による森林づくり参加企業・団体の拡大
・参加企業、団体の拡大(累計) (H21) 15社 → H26までに 100社
・「個人寄附者による森づくり」箇所数(累計) (H21) 0 → H26までに 5箇所

○ **「とくしま公有林拡大戦略」の展開**

- ◆「とくしま県有林化推進基金(仮称)」の創設 H26までに
(特色)「環境首都・先進とくしま関連予算の毎年1%」を目途に基金造成し県有林化を推進
- ◆「ダム水源地域」における公有林化や間伐等に対する支援制度の創設 H24までに
- ◆「公有林化」面積の拡大(累計) (H19～H21) 634ha → (H23～H25) 倍増

「みんなが主役・元気とくしま」の実現

～地域で支える～

基本目標

5

ぬくもりとやさしさあふれる「福祉社会の創造」に向け、子育て支援や高齢者・障害者福祉の充実、ユニバーサルデザインの浸透などにより、年齢、性別、国籍、障害の有無に関わりなく、誰もが未来への明るい夢と希望を育みながら、生き活きと自己実現できる「みんなが主役・元気とくしま」の実現を目指します。



「子育てに夢を持てる社会づくり」の推進

～人生のあらゆるステージで！～

<財源：一般財源、特定財源（国庫補助金、その他）>

○「あなたの子育て応援したい！」戦略の展開

- ◆ 結婚や子育てを語り合う「若者未来創造塾」の開講 H24までに
- ◆ 男性の育児参加を推奨する「とくしまイクメン大賞」の創設 H24までに

○地域で子育てを応援！「ファミリー・サポート・サービス」の全県展開

- ◆ 「ファミリー・サポート体制」整備市町村の拡大（H21）13市町村 → H26までに全県展開

○「安心して子どもを育てられる社会づくり」の推進

- ◆ 常に全国トップクラス！「乳幼児等医療費助成制度」の展開（再掲）
・対象年齢（H21）小3修了まで全国3位 → H26までに全国トップクラスを視野に入れ対応

○安心して預けられる「病児・病後児保育」体制の全県展開

- ◆ ファミリー・サポート体制等との連携による「病児・病後児保育体制」整備市町村の拡大（H21）9市町村 → H26までに 全県展開

「生涯現役とくしま」づくりの推進

～高齢者の地域での活躍を支援～

<財源：一般財源、特定財源（国庫補助金、その他）>

○はつらつエイジング！「生涯現役とくしま」の推進

- ◆ 全県CATV網を活用した「生き生きシニア（仮称）放送講座」の開設 H24までに
- ◆ 「生き生きシニア登録制度」の創設（累計）（H21）0 → H26までに 300名登録
※生き生きシニア・・・地域で活躍する高齢者のこと

○地域で支え合う「介護予防」の展開

- ◆ 「介護予防」を地域で実践する「介護予防リーダー」技能向上研修の創設 H24までに

障害者「社会参加とくしま」づくりの推進

～障害者の自立を強力に支援～

<財源：一般財源、特定財源（国庫補助金、その他）>

○「障害者の経済的自立」に向けた就労支援の強化推進

- ◆ 福祉施設で働く障害者の平均工賃の全国順位アップ

(H21) 3位→H26までに 全国トップへ

○乳幼児期から成人期まで！「発達障害者・総合支援拠点」の整備

- ◆「発達障害者総合支援ゾーン（ハナミズキプロジェクト拠点）」の開設

H24までに

「すべての人が住みよい地域」づくりの推進

～ユニバーサル・デザインの全県展開～

<財源：一般財源>

○ハード・ソフトの両面から！「ユニバーサル・ツーリズム」の創設そして全県展開へ

※ユニバーサル・ツーリズム・・・年齢や障害の有無にかかわらず、誰もが気兼ねなく参加できる旅行

- ◆ 外国人が快適に移動できる「観光コース」の整備

・「多言語表記・道路案内標識」の設置（累計）（H21）0 → H26までに 8地域

- ◆ 誰もが訪れやすい観光地「観光ユニバーサル大賞」の創設

H24までに

○全国モデル！「パーキング・パーミット制度」の全県展開

※パーキング・パーミット・・・障害者や妊婦等の歩行困難者が身体障害者等用の駐車場を利用しやすくするための証明書

- ◆「利用可能駐車台数」の増

・県内利用可能駐車台数（累計）

(H21) 617台 → H26までに 倍増

- ◆「利用者証交付数」の増

・県内交付数（累計）

(H21) 1,757件 → H26までに 倍増

「心の通い合う地域づくり」の推進

～共助と共生の地域づくり～

<財源：一般財源、特定財源（その他）>

○孤独感解消！「ひとり暮らし高齢者」支援ネットワークの創設

- ◆「ふれあい見守り」安否確認システムの全県展開

・「安否確認システム」の導入市町村数（H21）1 → H26までに 全市町村

○潤いと喜び！「動物とのふれあい」地域づくりの推進

- ◆ 福祉施設訪問をはじめ地域で活動する「動物ふれあいボランティア制度」の創設

・「動物ふれあいボランティア・NPO等」登録数（累計）

(H21) 0 → H26までに 50以上

「まなびの邦・育みとくしま」の実現

～地域で支える～

基本目標

6

21世紀を担う人材創造に向け、学力・体力向上対策や特別支援教育の充実、生涯を通じて意欲的に学習できる環境整備、青少年の健全育成など、「徳島らしさ」をふんだんに盛り込んだ創意工夫を凝らしながら、知性と体力、感性にあふれ、自立した人材を育成する「まなびの邦(くに)・育みとくしま」の実現を目指します。



「将来を担う子どもたち」を育む教育の推進

～魅力あふれる「まなびの邦(くに)」へ～

<財源：一般財源、特定財源（国庫補助金、その他）>

- **更なる進化！「少人数学級編制」の充実** ～小学校全学年へ～
 - ◆ 国の基準に先行した「徳島ならではの」の少人数学級（35人以下）の拡大
 - ・対象学年（H21）中学1年、小学1・2年→H26までに中学1年、小学校全学年に拡大
- **目指せノーベル賞！世界で活躍できる人材の育成へ**
 - ◆ 小学校への専科教員（理科、英語等）の新たな配置
(H21) 0 → H26までに モデル校5校選定
- **ジャンプアップ！「子どもの体力向上作戦」の展開**
 - ◆ 「全国体力運動能力調査」に基づく本県数値の大幅な改善
 - ・(H21) 小5男子:全国47位 中2女子:全国38位
→ H26までに 小5、中2ともに全国平均以上に
 - ◆ 小中学校の体育授業をサポートする「体育サポーター」の派遣 H24までに
 - ◆ 小学生の運動習慣づくりを進める「わんぱくランキング」の創設 H24までに
- **やさしさ・思いやりを育む「ストップ!いじめ・不登校」作戦の展開**
 - ◆ 困難事案の解決にあたる「専門家による支援チーム」の設置 H24までに
 - ◆ 公立小・中・高校全校！「全県スクールカウンセラー相談体制」の確立 H24までに
(H21) 公立小中全校の体制整備 → H24までに 高校を含む公立小中高全校の体制整備
- **しっかり体験！「キャリア教育」の推進** ～勤労観・職業観の育成を推進～
 - ◆ 中学校における「職場体験実施率」の向上 (H21) 83% → H26までに 100%

徳島ならではの「特別支援教育」の展開 ～一人ひとりの個性を尊重～

<財源：一般財源、特定財源（国庫補助金、その他）>

- 「幼小中高」一貫！「特別支援教育トータルサポート」の推進
 - ◆ 全国モデル！特別支援教育先進拠点「県立みなと高等学園」の開校 H24までに
 - ◆ 県央・県西・県南の各支援学校等との連携による全県のサポート体制の確立 H24までに
- 全国モデル！「盲学校・聾学校の併置」による新教育拠点の整備
 - ◆ 「新教育拠点」の整備 H26までに

「地域ぐるみで支える学校づくり」の推進

～「地域の教育力」向上作戦の展開～

<財源：一般財源>

- 徳島ならではの！「開かれた学校づくり」の推進
 - ◆ 地域貢献型！「県立学校地域開放プラン」の展開（H21）0 → H26までに 全校展開
 - ◆ 地域ぐるみで学校を支援！「学校サポーターズクラブ」制度の創設
 - ・設置市町村数（H21）0 → H26までに 全市町村
- 地域と県立学校が直結！「地域づくりの担い手」育成の展開
 - ◆ 県立学校における「防災クラブ」の設置（累計）（H21）0 → H26までに20校以上
 - ◆ 「中学生のスポーツ・文化活動」をサポートする地域貢献事業の創設 H24までに

「生涯まなび・とくしま」づくりの推進 ～地域社会への貢献の橋渡し～

<財源：一般財源、特定財源（その他）>

- 県立総合大学校「まなびーあ徳島」における「新たな県民講座」の開設
 - ◆ 「防災生涯学習」「デジタル・コンテンツ」「健康寿命」「外国語」など新講座の開設 H24までに
- 生産から消費一貫教育！「徳島食育大作戦」の展開
 - ◆ 「米粉」等徳島産食材を使った「地産地消」の実践的レシピの作成 H24までに
 - ◆ 農林水産業と小中高校との連携による「食育一貫教育システム」の構築 H24までに
 - ◆ 「栄養教諭」の増員（H21）25人 → H26までに倍増
 - ◆ 「栄養教諭を核とする食育指導体制」の全公立小中学校への展開 H26までに

未来を拓く「青少年育成」の推進 ～青少年の「夢と希望」の実現へ～

<財源：一般財源、特定財源（その他）>

- 地域一体型！「次代を担う青少年の健全育成」の推進
 - ◆ 地域が連携協力して若者を支援する「ユースサポーター制度」の創設 H24までに
- 「青少年活動拠点機能」の全県整備 ～「とくぎんトモニプラザ」を核として～
 - ◆ 県南、県西への拠点機能整備
 - ・県内拠点機能数（H21）1箇所 → H26までに 3箇所

「宝の島・創造とくしま」の実現

～地域で未来創造～

基本目標

7

誰もが自らの幸福を享受できる社会の実現に向け、公正・公平でオープンな県政を推進するとともに、人権が尊重される社会づくり、NPOとの協働による地域づくりはもとより、「関西広域連合」による全く「新しい国づくり」を先導し、可能性に満ちあふれる未来を創る「宝の島・創造とくしま」の実現を目指します。



誰もが生き生き！「人権尊重とくしま」の推進

～誰もが幸福実感～

<財源：一般財源>

○誰もが主役！「人権尊重の社会づくり」の推進

- ◆「人権教育啓発推進センター（あいぽーと徳島）」を拠点とした教育・啓発の推進
 - ・あいぽーと徳島利用者数（累計）（H19～H21）42,915人→（H23～H25）50%増

○パワーアップ！「男女共同参画立県とくしま」の推進

- ◆「県審議会に占める女性委員の割合」の全国トップクラスを連続達成
（H20～H22）3年連続で全国1位 → H26まで 全国トップクラスを連続で！
- ◆県審議会に占める若年者（40歳未満）の割合（H21）4.3% → H26までに 倍増

「県民との連携・協働」とくしまづくりの推進

～「新しい公共」の担い手を育成～

<財源：一般財源、特定財源（その他）>

○NPO法人をはじめ「新しい公共」担い手創出

- ◆「新しい公共」の担い手に対する支援制度の創設 H24までに
 - ※「つなぎ融資（資金繰りのための融資）」に対する利子補給制度の創設

○県民との協働型！新たな「公共施設維持管理システム」の展開

- ◆河川、道路等の「官民協働型」維持管理への参加団体数の増
 - ・参加中の団体数（H21）0 → H26までに 30団体

「活力みなぎるとくしま」づくりの推進

～平成の新しい国づくりを徳島が先導～

<財源：一般財源>

○「全国モデル」を徳島から発信！「政策提言」活動の強力展開

- ◆「知恵は地方にこそあり！」国に対する「徳島発の政策提言」の強力展開
 - ・提言数（累計）（H19～H21）192提言 →（H23～H25）50%増

○「関西広域連合」が先導！「平成の新しい国づくり」の促進

- ◆関西広域連合で展開する「徳島発の広域プロジェクト」の拡大
 - ・広域プロジェクト数（累計）（H22）3 → H26までに 3倍増

「笑顔あふれる地域づくり」の推進 ～魅力あるイベントを次々と展開～

<財源：一般財源、特定財源（国庫補助金、その他）>

- 「マチ☆アソビ」の強力展開 ～「アニメ」をサブ加チャから「メイン加チャ」へ～
 - ◆ 全世界に発信する「国際アニメ映画祭」の開催 H25までに
- 全国に魅力発信！春の風物詩・進化する「とくしまマラソン」
 - ◆ 「全国有数規模（1万人以上）の大会」の開催 H25までに
- ようこそ徳島へ！「全国大会・ブロック大会」の誘致促進
 - ◆ 中四国規模以上のコンベンション参加者数（年間）（H21）30,433人→ H26までに 倍増

「新しい次元の行政手法」の展開 ～既成概念からの超越に挑戦！～

<財源：一般財源、特定財源（その他）>

- 「新・とくしま未来創造プラン」の推進 ～一般行政部門3千人体制に向けて～
 - ◆ 「出先機関概念」の完全払拭（H21）31機関 → H26までに0 全機関を頭脳拠点化
 - ◆ スポンサー型や協働型など「新たな手法による歳入確保」の展開
 - ・ 広告事業収入（累計）（H19～21）1.3億円 → （H23～25）倍増
- 「新しい公共」で地域支援！既存ストックの更なる有効活用
 - ◆ 地域活動を支援する「県有施設空きスペース」有効活用事業の創設 H24までに
- 「徳島ならではの」「新たな事業評価システム」の創造
 - ◆ 「政策評価や事業評価を一元的に統括する新組織」の創設 H26までに
 - ◆ 「県民参加型！地域提言目安箱」の設置及び「提言実現システム」の創造 H26までに
- 大胆な財政健全化！「新・財政構造改革基本方針」の推進
 - ◆ 義務的経費である「公債費」の縮減（H21）806億円→ H26までに600億円台に
 - ※ 「一般会計」ベース：地方交付税の振替分である「臨時財政対策債」を除く
 - ◆ 安定した財政運営の基盤「財政調整的基金」残高の充実
 - （H21）80億円 → H26までに 4倍増
 - ◆ 財政健全化度の証明！ ～格付け機関による格付け「全国上位クラス」の堅持～
 - ※ 日本最大の格付け機関からの「徳島県債」格付け・・・3年連続（H20～H22）でAA（ダブルA：21段階で上から3番目）の評価
- 徳島発！21世紀型行政手法「とくしまトクトク事業」の強力展開
 - ◆ 「ゼロ予算」「県民との協働推進」「県民が主役」の3本柱！「とくしまトクトク事業」の展開
 - ・ 年間実施事業数（H21）142事業 → H26までに 倍増
- 「課題解決先進県とくしま」づくりの推進 ～実証からモデルそして全県展開へ～
 - ◆ 「実証実験」・「モデル事業」の展開
 - ・ 年間実施事業数（H21）14事業→ H26までに 7倍増
- 全国屈指！「徹底した情報公開」の推進
 - ◆ 「知事部局の情報公開ランキング」全国トップクラスの連続達成
 - （H19～H21）3年連続で全国1位 → H26まで 全国トップクラスを連続で！

「徳島の持つ潜在力」を あらゆる分野で“開花”！ 世界に輝く「宝の島・徳島」を創造



徳島はじめ日本、そして全世界は「百年に一度の経済危機」大ピンチの真っ只中にありますが、今や「ピンチをチャンスに!」は「徳島のお家芸」。

そこで、「百年に一度のピンチ」を「未来の徳島発展の礎を築くチャンスに!」との取組みは、県民の皆様のご尽力のもと、県内各地で着実に進行、息づいています。

徳島は、四国三郎の異名を持つ「吉野川」や霊峰「剣山」、世界一の「鳴門の渦潮」など「豊かな自然」とともに、「阿波藍」、「阿波おどり」、「阿波人形浄瑠璃」、日本の「年末の風物詩」ともなっている「ベートーヴェン第九」アジア初演の地、世界遺産への登録にチャレンジしている「四国八十八箇所」など、「類い稀な伝統と文化」を育んできました。

また、「鳴門金時、すだち、鳴門わかめ、阿波尾鶏」の四大ブランドや京都「祇園祭」、大阪「天神祭」、徳島「阿波おどり」の「日本三大はも祭り」に欠かせない「徳島の活鱧（いきはも）」など、関西の台所を賄う「食の宝庫」、さらには、全国で多くの本県ゆかりの人々が活躍する「進取の気質に満ちた県民性」など、きら星のごとく「素晴らしい宝物」を有しています。

このような可能性の宝庫「徳島」の魅力や個性をあらゆる分野で引き出し、県民の皆様が、全国はもとより世界に対し、「徳島こそ」と胸を張れる、そして、徳島の将来に「夢と希望」を持ち、幸福を実感できる、世界に燦然と輝く「宝の島・徳島」を「いけるよ!徳島」を合い言葉に、県民の皆様とともに着実に築いていく覚悟です。

徳島県



“かもん” マニフェスト ～新たな挑戦!～

発行日 平成 23 年 3 月 18 日

発 行 飯泉嘉門後援会

徳島市佐古一番町 16-4

TEL.088-657-7344

<http://www.e-comeon.net>

< 討議資料 >